

第4期天草市有明地域まちづくり計画

～ともにつながり幸せを感じるまちづくり～

天草市 有明地域

制 定 日	令和8年3月1日
改 正 日	

第4期天草市有明地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
2	有明地域の概要	2～5
2.1	位置・地勢	2
2.2	面積・土地利用	3
2.3	人口・世帯数	3～5
3	めざす姿	6～7
3.1	めざす姿をどのように実現に近づけるか	6
3.2	取り組みによって解決が期待される課題	7
4	計画の推進体制	8
4.1	実施	8
4.2	評価・改善	8
5	地域別計画	9～39
5.1	楠甫地区振興計画	9
5.2	大浦地区振興計画	13
5.3	須子地区振興計画	18
5.4	赤崎地区振興計画	23
5.5	上津浦地区振興計画	27
5.6	下津浦地区振興計画	31
5.7	島子地区振興計画	36

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少や過疎地域の増加、少子高齢化や地域の担い手不足などにより、継続した地域活動やコミュニティの維持が懸念されています。そのような中、地域における人々のつながりや、共助による活動の推進、また、一人ひとりが地域に対する愛着や誇りを持つことが、持続可能なコミュニティの形成につながります。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市有明地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第3期天草市有明地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和11年度までの4年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

2 有明地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は、天草諸島内の上島に位置し、北西部に有明海、南東部は天草第二の高峰老岳（586.2m）を中心とした山並みが続き、豊かな自然と温かい人情を地域の宝としています。地域の区域は東西 24.8km、南北 3.85km と細長く、14 の中小河川の流れに沿って約 1,100ha の耕地が拓け、集落が形成されています。

また、地域には祖先から代々受け継がれた伝統文化があります。なかでも郷土芸能の大浦阿蘇神社例大祭での獅子舞、上津浦・下津浦・島子諏訪神社例大祭での太鼓踊りは江戸時代から 200 年～300 年以上にわたり現代に伝えられています。

産業面では、豊かな自然と温暖な気候を生かした農業や、有明海の豊饒の恵みを受ける漁業の第 1 次産業が基幹産業です。

観光面では、平成 6 年 7 月に開館した「道の駅有明リップルランド」とともに、新たな一歩を踏み出しました。リップルは「さざ波」という意味があり、有明海のおだやかな波が聞こえてくることからこの名前となりました。物産館と併設する温泉センター「さざ波の湯」、毎年夏の到来とともに開催する「さざ波フェスタ」もこの由来から命名されたものです。その他にも、毎年多くの海水浴客で賑わう「四郎ヶ浜ビーチ」やインパクト満点の「タコ入道」があります。

図 2 有明地域位置図



2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は59.64 km²で、市面積の約8.7%を占めています。

土地利用については、全体の約80%を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約9%となっています。

表1 有明地域土地面積（平成30年10月1日現在）

	有明地域	天草市
面積 (km ²)	59.64	683.87
割合 (%)	8.7	100

（国土地理院九州地方測量部）

2.3 人口・世帯数

表2 有明地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口（人）	6,057	5,510	4,977	4,511
世帯数（世帯）	2,049	1,999	1,885	1,768
世帯当たり人員（人）	2.96	2.76	2.64	2.55

（国勢調査）

図3 有明地域の人口、世帯数の推移

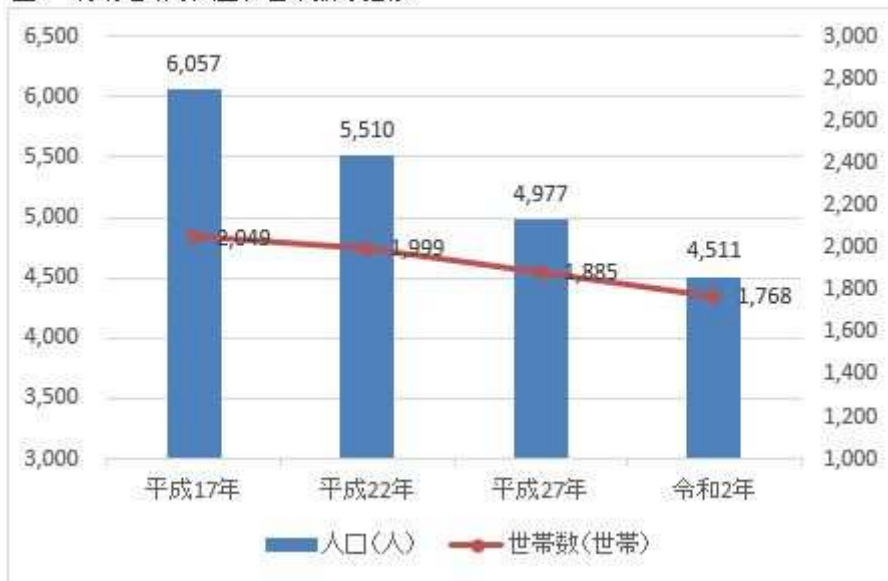


表3 有明地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	6,057	100.0	5,510	100.0	4,977	100.0	4,511	100.0
0～14歳	772	12.7	662	12.0	481	9.7	388	8.6
15～64歳	3,112	51.4	2,686	48.7	2,268	45.6	1,902	42.2
65歳以上	2,173	35.9	2,162	39.2	2,228	44.8	2,221	49.2

（国勢調査）

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図4 有明地域の総人口、年齢階層別人口の推移

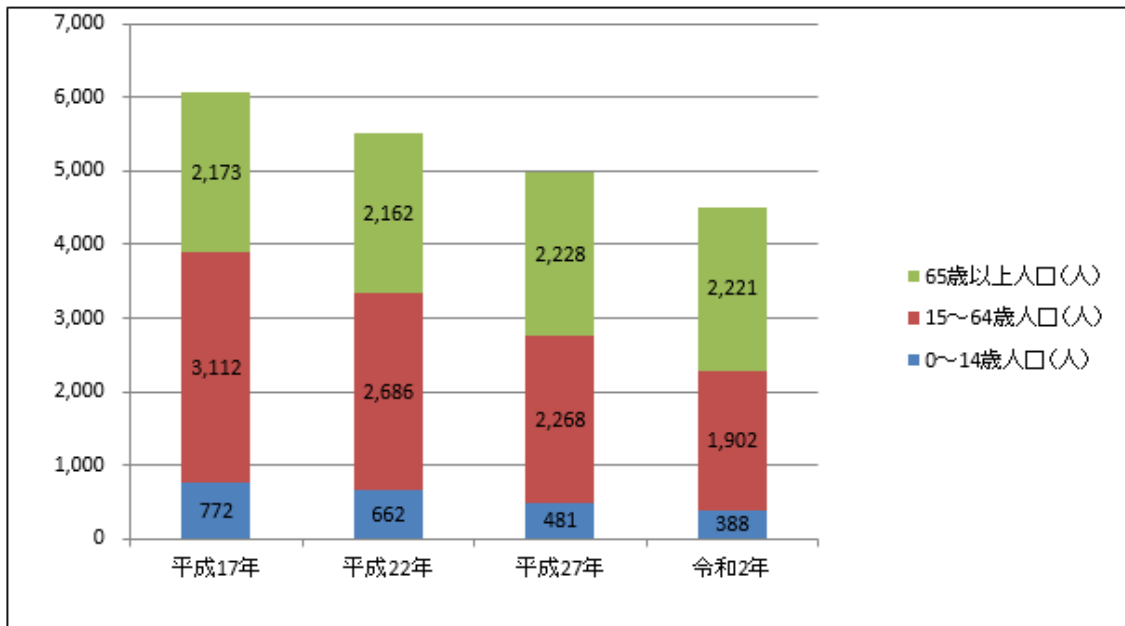


表4 有明地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	2,767	100.0	2,467	100.0	2,227	100.0	2,010	100.0
第1次産業	688	24.9	537	21.8	486	21.8	393	19.6
第2次産業	536	19.4	407	16.5	396	17.8	368	18.3
第3次産業	1,543	55.8	1,512	61.3	1,345	60.4	1,243	61.8

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 有明地域の産業別就業者数の推移

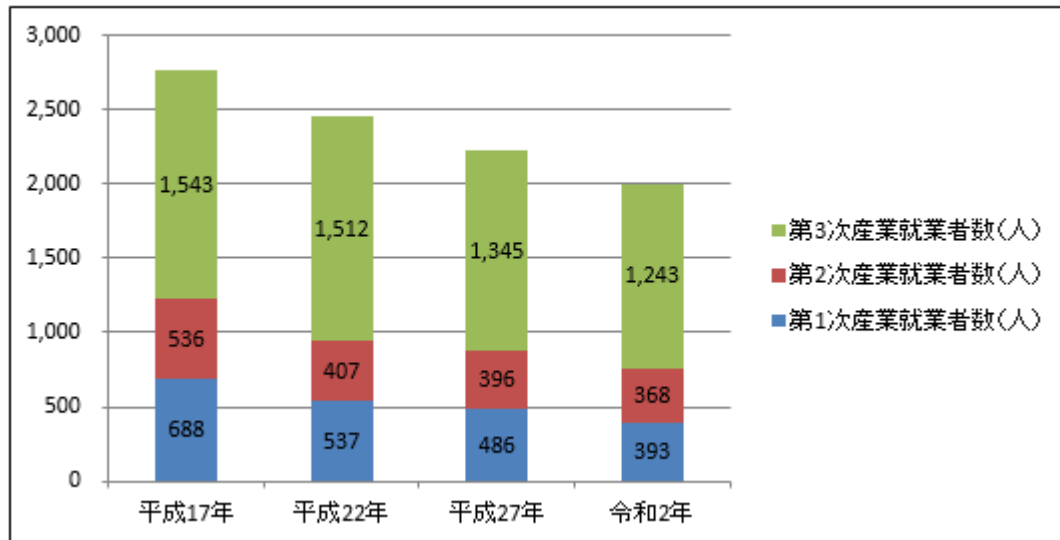


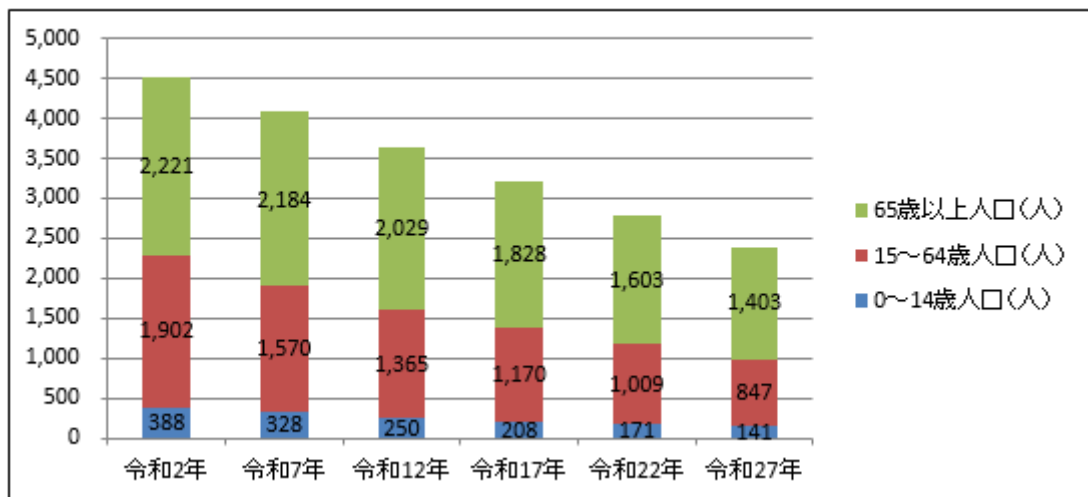
表5 有明地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）

区分	令和2年		令和7年		令和12年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	4,511	100.0	4,082	100.0	3,644	100.0
0～14歳	388	8.6	328	8.0	250	6.9
15～64歳	1,902	42.2	1,570	38.5	1,365	37.5
65歳以上	2,221	49.2	2,184	53.5	2,029	55.7
区分	令和17年		令和22年		令和27年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	3,206	100.0	2,783	100.0	2,391	100.0
0～14歳	208	6.5	171	6.1	141	5.9
15～64歳	1,170	36.5	1,009	36.3	847	35.4
65歳以上	1,828	57.0	1,603	57.6	1,403	58.7

（令和2年：国勢調査、令和7～令和27年：市政策企画課）

※平成27年(2015年)から令和2年(2020年)の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて令和7年から令和27年までの将来予測人口を算出。

図6 有明地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）



3 めざす姿

地域住民一人ひとりが主役となり、できる人ができることから始め、その輪を少しずつ広げる、そのようなまちづくり「ともしつながら幸せを感じるまちづくり」を目指す。

3-1 めざす姿を実現するための計画

	4年間で実施する事柄	具体的なアクション
1	① 未来につながるまちづくり <ul style="list-style-type: none">・収穫等体験・天草体験学習・サマー体験隊・フットパスガイドボランティア	<ul style="list-style-type: none">・地元農家や関係団体と協力し収穫体験を実施・中学生に天草の歴史、観光資源等の体験を実施・夏休みに小学生の体験学習を行う・小学生にガイドボランティアを募り実践する
2	② 地域資源を活かしたまちづくり <ul style="list-style-type: none">・フットパス	<ul style="list-style-type: none">・9コースのうち、年間2回イベントを行う・各地区振興会へコースの活用を働きかける
3	③ 人がつながるまちづくり <ul style="list-style-type: none">・関東有明会総会への参加・ARe:AKE PROJECT	<ul style="list-style-type: none">・総会に参加し、出郷者との連携を図る・有明地域の様々な事業所同志が繋がりを持つためワークショップを行う
4	④ やさしさと安心のまちづくり <ul style="list-style-type: none">・避難訓練、防災訓練・クリーン作戦	<ul style="list-style-type: none">・地域全体での避難訓練や防災訓練実施のほか、自主防災会での活動を支援する・一斉清掃作業を行い、地域の環境美化を推進する

3-2 (3-1) の取り組みによって解決が期待される課題

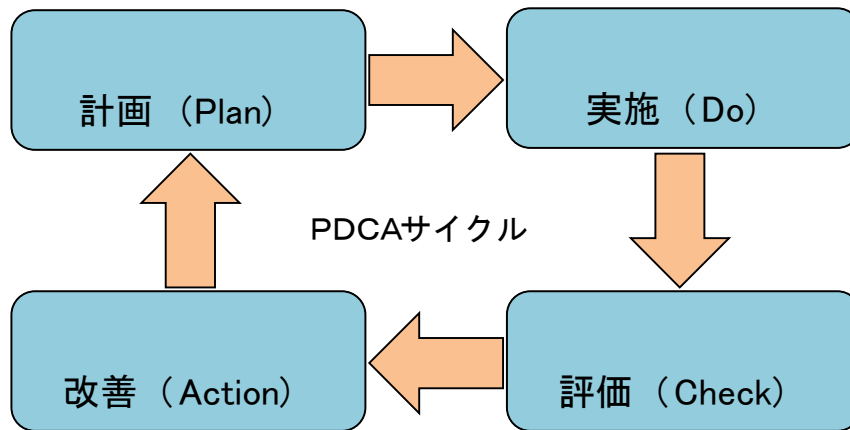
	期待される効果	対応する課題
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした体験事業を行い、子ども達に地域産業の魅力を知ることができるほか、地域との交流促進を図ることができる ・天草の歴史や産業、観光資源などを現地に赴き学習することで、理解を深め郷土愛を愛する心を育み、将来的には天草での活躍を促すことを目的とする ・地域イベントに積極的に関与することで、子ども達の健全育成を図ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成 ・郷土愛の醸成 ・地域活動への参加者増 ・地域産業の活用
2	<ul style="list-style-type: none"> ・コースを管理、維持することで地域景観を保つことができる ・関係人口、交流人口を増やすことができ、経済的効果が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な地域景観の維持 ・地域資源の活用 ・交流人口の増加
3	<ul style="list-style-type: none"> ・出郷者との連携を図ることで、様々な情報共有できる。 ・ふるさと納税を直接お願いすることができる ・地域内の事業者が繋がることで、新たな事業展開が期待できる ・特に若い事業者が繋がることで、地域の活性化を期待することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の停滞解消 ・若者の地域参加
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民同士の連携を図り、災害発生時の協力体制を強化する ・地域で環境美化活動に取り組むことにより、景観維持が保たれると同時に、地域の親睦を図ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の対策 ・地域の景観維持 ・住民同士の関係づくり

5 計画の推進体制

本計画の推進体制については、有明まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図8 天草市有明地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)



5.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に有明まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

5.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上有明まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p style="text-align: center;">楠甫の水田地帯</p>	
面積(km ²)	10.7		
人口(人)	総人口		457
	15歳未満		35
	16~64歳		235
	65歳以上		187
高齢化率(%)	51.4		
就業人口(人)	第1次産業		43
	第2次産業		46
	第3次産業		118
世帯数(世帯)	総世帯数	205	
	高齢単身者	57	
行政区数(区)	5		
学校	無		
文化財・史跡	六地藏、五輪塔、流人墓、仏崎観音など各地区神社等・楠甫城跡		
その他地域資源	地区の中心に広がる水田地帯、楠甫グラウンドの桜		
地域伝統芸能	どんどや		
地域づくり団体	老人会、楠甫環境保全会		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>楠甫地区は、古くから干拓地を開拓し稲作を中心に発展してきたが、水害の常襲地帯であったため、平成9年度に県営圃場整備事業で約65haの農地を再整備すると同時に、楠甫川の河川改修が行われ、以来温暖な気候を活かした水稲、果樹等の農業を中心とした風光明媚な準農村地帯と、海岸付近の漁業集落とが合わさり多様性ある地域の姿を形成している。</p> <p>また、昔から各地の氏神様として八つの神様と三つの観音様が祀られる信仰深い地区である。この地域資源を活かし、令和6年度から「くすぼフットパス」を開催している。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<p>楠甫地区においては、少子高齢化の進行と共に地域内に職場が少ないため若者の流出が続き、高齢者のみの世帯も急増する中で地域コミュニティの希薄化が顕著である。また同時に農業・漁業の後継者不足により、地域経済の停滞、耕作放棄地の増加による地域環境・景観の維持も危ぶまれている。</p> <p>地区振興会の活動についても、参加者が固定化する傾向にあり、各区からの役員の選出も難しくなってきた中であって、いかにして地域コミュニティの醸成を図るかが課題になってきている。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	神々の郷づくり
考え方	古くから集落ごとに氏神様を祀ってきた各区のコミュニティ力を維持し、住民が安心して暮らせる環境づくりを目指す

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を基幹産業としている ・人口減少に伴い、後継者不足に拍車がかかっている ・耕作放棄地、獣害が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活かすまちづくり ・農地などの地域資源をコミュニティづくりに活かす
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各区で氏神様を祀るコミュニティが形成されている ・人口減少が進み、コミュニティの担い手が年々減少傾向にある 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史・文化を学び受け継ぐまちづくり ・地域の歴史、文化を将来の世代に受け継ぐ
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・世代の隔たりなく子どもから高齢者まで参加できるイベントが必要 ・交流人口を増やすため、対外的な地域の認知度を上げていく取り組みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○世代を超えて「郷土」を感じるまちづくり ・多くの住民が参加し交流できる事業を実施する ・地域外からの来訪者を誘致し、交流人口を増やす
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減少しており、地域住民と触れあう機会が少ない ・少子化は今後も継続する見込みで、子どもの数が極端に少ない地域になる可能性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ○未来の大人を地域で育むまちづくり ・ふるさとを自慢できる大人に育てる事業を実施
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が増加しており、孤立化を防止する必要がある ・子育て世代の共働きが増え、学校の長期休みの際の世話に苦慮している 	<ul style="list-style-type: none"> ○笑顔が集うまちづくり ・子どもや高齢者が気軽に、継続的に集える事業を実施
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地の草木の手入れ不足など、住環境は年々悪化している ・災害が頻発化しているが、避難者が高齢化しており、支援が必要となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全なまちづくり ・きれいな住環境を維持する事業を実施 ・円滑な避難行動や避難所運営をサポートする
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会役員の後継者が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会の組織力強化 ・振興会活動のPRを実施

■第6期楠甫地区振興計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期			長期				
				R8	R9	R10	R11	5年以上			
A	惣菜作り	加工グループにより火・金に惣菜等を製作し販売する。買い物弱者である高齢者世帯への配達も実施	週2回を維持	→						加工G+振興会	
A	ふれあい事業	耕作放棄地を活用し、野菜を栽培。楠甫住民相互の交流を図るとともにフットパス時の収穫体験に活用	参加者数100人	→						振興会	
B	桜祭り	楠甫グラウンド桜の開花時期に合わせて夜間ライトアップを実施。	1週間程度点灯	→						振興会	
B	ランタン点灯	大晦日の晩に、地域住民が制作した竹灯籠を楠甫神社にてろうそくを灯し新年を迎える	毎年点灯を維持	→						振興会	
C	地区球技大会	春季、秋季にグラウンドゴルフ大会を開催。幅広い世代の住民の交流を図る。	参加者数100名(2回計)	→						振興会	
C	どんどや	1月第1日曜日に新年の伝統行事としてどんどや(鬼火焼き)を実施し、地域の一体感の高揚を図る。	参加者数100名	→						振興会	
C	くすぼフットパス	地区外からの交流人口増大を目的に、2月第1週の日曜日にウォーキングイベントを開催。	30名の集客を目標	→						振興会	
C	収穫祭	地区住民との交流として、栽培した野菜を収穫し、フットパス参加賞にも提供する。	50名の集客を目標	→						振興会	
D	子ども集いの広場	夏休み期間に地域住民と交流と食育の観点で料理教室を開催。	小学生全員の参加	→						振興会	
E	敬老会	9月の第2土曜日に開催。式典や演芸で敬老者をお祝い。各地区からの協力者とともに運営する。	敬老者100名参加	→						協働(区+振興会)	
E	一人暮らし弁当配布	年3回(5・11・2月)実施。一人暮らし高齢者へ弁当を作製し、見守りを兼ねて訪問配布する。	年3回実施	→						協働(振興会+社協)	
F	クリーン作戦	7月第1日曜日に地域内の道路、河川の清掃を実施、また10月には各地区の除草作業を実施。	各世帯から1名程度の参加	→						協働(区+振興会)	
F	公園整備事業	・楠甫川防潮水門横の植樹帯整備 ・楠甫グラウンド桜並木の整備、植え替え	年1回実施	→						振興会	
H	振興会だより発行	振興会の活動を住民にPRするため、「振興会だより」を発行する	年6回程度発行	→						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

楠甫地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
B	歴史文化伝承事業	地区の歴史・文化に詳しい方々から話を聞き、後世に伝えるため音声データ化(もしくは文書化)する。	年1~2名にヒアリングを実施						振興会	
E	高齢者サポート事業	高齢者同士でのコミュニケーション向上を図るため、各種施策を紹介し、取り組みをサポートする。	振興会だよりに年3回記事掲載						協働(振興会+社協)	
F	避難者支援事業	避難時の支援等が必要な方のサポート及び避難所環境の整備充実を図る。	災害時連絡網等を毎年更新						協働(区+振興会+社協)	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	6.96	
人口(人)	総人口	513
	15歳未満	49
	15~64歳	225
	65歳以上	239
高齢化率(%)	46.6	
就業人口(人)	第1次産業	54
	第2次産業	43
	第3次産業	142
世帯数(世帯)	総世帯数	223
	高齢者のみ	46
行政区数(区)	5	
学校	なし	
文化財・史跡	大浦阿蘇神社、ビクン石、閻魔堂(九品寺)、城守様、六地藏さま、流人寄進大蓮台(蓮華台)、寄り人さま、弁財天さま、石かむり地藏さん、桑の浦塩神様、竹島古墳、台田古墳、荒潮古墳、神ノ元古墳、新地の箱式石棺、盗人が岩古墳、釘嶋陸越古墳、釘嶋龍崎古墳、朝鳥古墳、大浦城址	
その他地域資源	竹島、飛龍島、大浦港、大浦花公園、花工房、旧大楠小学校、旧有明東中学校、旧天草東高校	
地域伝統芸能	大浦阿蘇神社秋季例大祭(神幸行列・獅子舞)、米作り絵巻、大浦の子守唄	
地域づくり団体	第一・二老和会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>私達が住む大浦は、山・川・海の自然環境に恵まれ、特に有明海を望む海岸線の景観が素晴らしい地域です。また、デコポンをはじめとする柑橘類や定置網・底引き網漁で水揚げされる多彩な水産物など自然の恵みも豊富なところです。</p> <p>地区内には、閻魔堂やビクン石などの文化財や古墳などの史跡に加え、天草五橋開通前まで天草の玄関口として、天草と九州本土を結ぶ貴重な定期船が運航していた大浦港など歴史的資源が多数点在しています。</p> <p>大浦住民の特徴としては、人情豊かで温厚な人が多く、特に女性や高齢者に元気があり、何をするにもまともりがあるとところが自慢です。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>①地域に商店がなく、買い物が不便</p> <p>②人口減少や少子高齢化(若者の減少)による第一次産業の後継者問題や自治活動の担い手不足</p> <p>③医療機関の廃業に伴い受診が不便</p> <p>④イノシシ、タヌキなどの獣害が多い</p> <p>⑤耕作放棄地・空き地・空き家の増加に伴う地域の荒廃</p>		



大浦阿蘇神社

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	小さくても”キラリ”と光る大浦
考え方	豊かな自然と地域資源を活かし、人と人との繋がりを大切に、共に支えあい、笑顔が絶えない、安心して暮らせる地域を目指す。


◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・後継者不足、獣害、耕作放棄地の増加など多くの課題を抱えている。	一次産業を利用して都市部との交流を図り、生産物のPR・関係者の所得安定に繋がるような事業を行う。増加する耕作放棄地の解消に向けた取り組みを推進する。 ・大浦の郷構想事業 ・ひと網オーナー制度の推進
【B】 観光 ・ 文化	・少子高齢化が著しく、地区に伝わる伝統芸能を継承する後継者が育ちにくい。 ・地域資源を有効に活用していない。	伝統芸能の保存と継承。地域にある資源の有効活用を行う。 ・伝統芸能の保存 ・老岳登山探検隊
【C】 地域 振興	・過疎化、少子高齢化に伴う人口減少により、地域振興の担い手の減少や地域コミュニティを将来に引き継いでいくことが難しくなっている。	地域内交流や世代間交流のために、子どもから高齢者まで参加できる事業を展開する。 ・地区球技大会 ・大浦ふれあい祭り ・大浦“大”花見
【D】 教育	・少子化や体験活動の不足により、子ども達の「生きる力」が損なわれがちである。 ・子育て世代の共働き世帯が増え、学校が長期休みの場合での、育児に苦慮している。	子ども達の居場所を提供し、健全育成に寄与する。 ・子どもサロン事業
【E】 保健・医療 ・福祉	・独居老人の数が増加し、孤立化の傾向がある。 ・地域唯一の病院の閉鎖により、病院受診が困難となっている。	住民同士が支え合い健康で安心して暮らせる環境づくりを行う。 ・高齢者の交流の場づくり(含む敬老会) ・高齢者の見守りネットワークの構築 ・一人暮らし弁当サービス事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・空き家や耕作放棄地等、地域を取り巻く環境は年々悪化している。 ・ボランティアグループによる花壇の整備などで景観を維持しているが、高齢化により限界にきている。	環境に対する意識改革など住民総出で美しい環境作りに努める。また、住民の防犯・防災意識を高め、安心・安全な環境づくりを行う。 ・花いっぱい運動 ・クリーン作戦 ・自主防災組織活動の充実
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

大浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
B	伝統文化保存事業	10月第3土日曜日に行われる村祭りの雰囲気醸成するために、沿道沿いに箱灯ろうを設置する。	年1回実施	→					振興会	
C	ライトアップ事業	大晦日の夜に大浦阿蘇神社一帯をライトアップ。	年1回実施	→					振興会	
C	大浦ふれあい祭り	地区住民手作りのお祭り。毎年11月第1日曜日に船津分館一帯を会場に実施。	来場者150人以上	→					振興会	
C	フットパスを楽しもう	有明まちづくり協議会において策定した大浦地区フットパスコース(海・山)を活かしてフットパスを体験する事業を実施。	年1回体験事業等を実施	→					振興会	
C	地区球技大会	6月第1日曜日にグラウンドゴルフ大会を開催。	150人以上参加	→					振興会	
C	大浦”大”花見	大浦グラウンドにおいて、全住民を対象とした花見を開催	100人以上参加	→					振興会	
C	老岳登山探検隊	大浦地区から老岳山頂までの登山道を維持・整備し、イベントを通じて地域資源の活用を行う	年1回イベント事業を実施	→					振興会 + 行政	
D	子どもサロン事業	夏休み期間中、コミュニティセンターを開放して、勉強や料理体験などを行い子ども達を見守る。	年2回イベント事業を実施	→					振興会 + 食改	
E	緊急連絡先カード作成事業	高齢者のみの世帯などに緊急連絡先カードを作成し常設してもらう。対象家庭は部会員が見守りを行う。	年1回見直す	→					振興会	
E	福祉交流のつどい	高齢者と部会員がコミュニティセンターでゲームや食事会を通じて交流を図る。	20人以上参加	→					振興会	
E	いきいき教室	高齢者と部会員がゴキブリ団子等のものづくりや昼食会を通じて交流を図る。	20人以上参加	→					振興会	
E	敬老会	地区内の76歳以上の方を対象に敬老者を祝う会を実施。	年1回実施	→					振興会	
E	一人暮らしへの弁当づくり配布事業	一人暮らしなどの高齢者へお弁当を配布。	年2回実施	→					振興会	
F	自主防災活動	各区等で避難場所を定め、自主防災会や消防団と連携し防災訓練を行う。	年1回防災訓練を実施	→					振興会 + 支所	

地区の概要(R2国勢調査参考)		 <p style="text-align: center;">須子地区の全景</p>	
面積(km ²)	4.2km ²		
人口(人)	総人口		429人
	15歳未満		22人
	15～64歳		149人
	65歳以上		258人
高齢化率(%)	60.1%		
就業人口(人)	第1次産業		33人
	第2次産業		23人
	第3次産業		107人
世帯数(世帯)	総世帯数	154世帯	
	高齢単身者	37世帯	
行政区数(区)	2区		
学校	なし		
文化財・史跡	鬼塚古墳、恵比寿神・恵比寿様、八幡神、塩釜神、山の神、須子諏訪神社、稲荷社、忠魂碑、禮崎久左エ門慰墓碑、観音堂(天草四国八十八ヶ所霊場第拾五番札所)・地藏様、寄人供養碑(寄り人様)、権現神、老岳大神、天満宮、牧の神、天神様、八坂神社(祇園様)、菅原神社、生目神社、三王大権現、十五社宮、天理教天島分教会、金毘羅神、生産豊作の神、キノドン様、地の神		
その他地域資源	神楽崎(高岩)、聖田の碑、須子小学校百周年記念碑・閉校記念碑 須子桜運動公園		
地域伝統芸能	獅子舞、神楽太鼓、神楽舞		
地域づくり団体	区長会、老人会、子ども会		
地区のいいところ・自慢できるところ			
まちづくり活動が活発／半径500m以内に集落が収まり地理的条件が良い／地区住民の団結力が強い／力強いリーダーの存在			
地区が抱える課題・困っていること			
人口減少／少子高齢化／後継者問題(若者の減少)／自治活動の体制(担い手不足)／生活基盤の低下(保育所、小・中学校や病院等が近くにない)／高規格道路開通により沿線商店の活力低下			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<h2>日本一心豊かに暮らせるまちづくり</h2> <h3>～“須子に住んで良かった”と心から言える地域を目指して～</h3>
考え方	地区住民が「ここに住んで良かった」、出身者が「ここに生まれてよかった」と誇りを持って心から言えるような、日本一心豊かに暮らせる地域づくりに取り組む。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物の加工・販売に取り組んでいる団体がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元農産物を活用したまちづくり ・農産物加工・販売の支援
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで引き継がれてきた伝統文化を継承し、郷土愛の醸成、地域内交流を図っている。 ・伝統文化の担い手が不足している。 ・少子高齢化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統行事を次世代へ繋ぐまちづくり ・十五夜 ・神楽殿展示会 ・鬼火焼き
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会を通じ、地域内・世代間の交流、出身者との交流、地域情報の発信を行い、地域の活性化を図っている。 ・地域づくり活動の担い手が不足している。 ・地域づくり活動が一部の人に集中している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内・世代間の繋がりが強いまちづくり ・春祭り ・地区球技大会 ・振興会だより発行 ・ホームページ運営 ・関東有明会出席
【D】 教育		
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・地域一体となって、高齢者等の見守り体制づくりに努めている。 ・地区住民の繋がりが強い。 ・高齢化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者等を大切にするまちづくり ・介護予防事業 ・敬老会 ・一人暮らし弁当配布事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい地域・環境の保全のため、クリーン作戦や農道・海岸等の清掃活動を実施している。 ・次世代を担う子どもたちに、きれいな川と海を残すために、EMを中心とした環境浄化活動を推進している。 ・防災意識の高揚を図るため、防災訓練、津波避難訓練に取り組んでいる。 ・助け合いの精神が根付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美しい地域・環境を次世代へ残すまちづくり ・EMじゃぶじゃぶ事業 ・ゴキブリ団子作り事業 ・クリーン作戦 ・農道整備事業 ・EM石けん作り事業 ・景観整備事業 ・お宝整備事業 ○助け合い・防災意識の高いまちづくり ・防災予防事業 ・津波避難訓練
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

須子地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 4年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	農産物加工支援事業	農産物加工品(いちごジャム、うめジャム、マーマレード)の製造・販売の支援を行う。	通年実施	→					振興会	
B	十五夜	子ども会との共催。十五夜にちなんレクリエーションを実施する。	年1回実施	→					振興会	
B	神楽殿展示会	須子諏訪神社の神楽殿において、地域住民が手掛けた作品を展示する。	年1回実施	→					振興会	
B	鬼火焼き	須子漁協前広場において、鬼火焼きを実施する。	年1回実施	→					振興会	
C	春祭り	須子コミセンにおいて、春祭り(イベント・バザー等)を実施する。	年1回実施 来場者数100人以上	→					振興会	
C	地区球技大会	須子桜運動公園において、区対抗のスポーツ大会を実施する。	年1回実施 参加者数100人以上	→					振興会	
C	振興会だより発行	振興会だよりを2ヶ月に1回発行し、地区内の情報を発信する。	年6回発行	→					振興会	
C	ホームページ運営	ホームページを概ね2ヶ月に1回更新し、地区内の情報を発信する。	年6回更新	→					振興会	
C	関東有明会出席	関東有明会の総会に地区の代表者が出席する。	年1回出席	→					振興会	
E	介護予防事業	高齢者を対象とした健康体操教室・いきいきサロン等の支援を行う。	年12回以上実施	→					振興会	
E	敬老会	満年齢75歳以上の方々のご長寿のお祝いと地域貢献に敬意を表し、敬老会を実施する。	年1回実施	→					振興会	
E	一人暮らし弁当配布事業	一人暮らしの高齢者へ手作り弁当を配布する。	年2回実施	→					振興会	
F	EMじゃぶじゃぶ事業	自然環境改善のため、EM菌培養液を地区内の河川等へ流す。	年12回実施	→					振興会	

第6期赤崎地区振興計画(案)

地区振興会名

赤崎地区振興会

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	6.56	
人口(人)	総人口	634
	15歳未満	50
	15～64歳	292
	65歳以上	292
高齢化率(%)	46.1	
就業人口(人)	第1次産業	80
	第2次産業	46
	第3次産業	187
世帯数(世帯)	総世帯数	258
	高齢単身者	47
行政区数(区)	6区	
学校	有明小学校、有明中学校	
文化財・史跡	北野庄屋敷跡、イカナゴ漁上原典礼先生の記念碑、黒砂糖の祖前田市右衛門氏記念碑、寄り人様供養塔、キリシタン軍上陸の地、昭和天皇巡幸関係の碑	
その他地域資源	國之常立神社、弁財天神社、愛宕神社、粟島様、八幡宮、赤崎神社、八坂神社、大神宮、稻荷神社、天満宮、金毘羅宮、御幸ヶ浜、旧赤崎小学校跡、温州みかん、デコポン、天草晩柑、ポンカン、サワラ、たこ、干しダコ、タコめし、たこ味噌、だご汁	
地域伝統芸能	鬼火焼き	
地域づくり団体	子供会、婦人会、老人会、宮浜会、琉球國祭り太鼓	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>赤崎地区は、今まで先人たちが築き上げ受け継いでこられた赤崎に対する「強い思い」と人と人とのつながりである「固い絆」を大切にすることによって、「家族」や「隣人」そして「地域」を思いやる心を育んできました。「伝統」や「文化」を次の世代へ末永く引き継ぐためにも、住民一人ひとりが地域づくりに参加しています。また、各種サービス施設(信用金庫、農協、郵便局)や消防署などの施設が集まっている。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>① 少子高齢化による人口の減少 ② 進学や就職による若者の流出 ③ 第一次産業の後継者問題(後継者の嫁問題) ④ 自治活動の体制維持(担い手不足) ⑤ 生活基盤の低下(保育園・小学校・商店・病院の閉鎖) ⑥ 高規格道路の開通による沿線商店の活力低下および閉鎖 ⑦ 空き家や耕作放棄地の増加 ⑧ 移住者とのトラブル発生時の対応策 ⑨ コロナ禍における社会生活への影響とコミュニティの崩壊</p>		



「あかさき秋祭り」

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	「海・山・ひと・・・田舎再発見！」
考え方	赤崎地区は海や山などの自然資源に恵まれ、また数多くの文化財や史跡が残る地域であるため、その地域資源を活かして住民一人ひとりがまちづくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による農業、漁業の担い手、後継者不足のため耕作放棄地や鳥獣被害が増大している ・長引くコロナ禍のため社会経済活動が停滞している ・平成29年1月から赤崎保育所跡地に、海苔のメーカーである(株)通宝の製造工場「天草通宝factory」が進出し、地元雇用や発展に期待されている ・「かのやCafé」が2021年にオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行き不透明なコロナ禍の中で、社会活動全般に対する見直しをするいい機会(チャンス)と捉えと共に、「ウイズコロナ」の考え方を基本とする。 ●フットパス(まち歩き)を通じて、市内外からの交流人口の増加を図ると共に、有明小の児童に対しボランティアガイドへの積極的な参加や「赤崎まち探検」を実施する事により自然や人、歴史に関心をもってもらう。 ●デコボン等の農産物、タコ、サワラ等の海産物のPR及び販売 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため「基本的な感染防止対策」を徹底する
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・北野家庄屋敷跡、上原典礼氏の記念碑、前田市右衛門氏の記念碑等々多数の文化財や史跡を有している ・地域に伝わる伝統行事が存続できない現状がある ・コロナ禍による観光客の減少が顕著である 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を生かした魅力ある発信を模索する ●ボランティアガイドを育成すると共に、文化財や史跡を市内外に紹介する ●赤崎マップの設置(2カ所) ●文化財の保護のため記念碑及び石碑の「拓本」の制作 ●「あかさき秋祭り」を実施し、住民同志の交流を図る。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化やコロナ禍による行動制限が常態化しているため、あらゆる行事やイベントをはじめ社会生活全体に支障をきたしている ・地区住民が一同に会する機会が全くなりつつある 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者までが参加できる行事やイベントを通して、ふれあいの場づくりに努める。 ●まちづくりを推進するうえで重要となる「地域リーダー」の発掘・育成 ●振興会だよりの発行、ホームページの運営及び関東有明会との交流
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が加速度的に進み、子どもがいない地域が多くみられる ・部活動が社会体育に移行する中で、子どもの送迎や移動等々子育て世代に新たな問題が生じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子ども達を見守り育てる環境づくりに努める ・長期休暇(夏休み等)中、赤崎地区コミセンを開放する ・小・中学校と一体となり、子ども達の健全な育成とふるさとを愛する心を育むように努める ・社会体育移行に伴う積極的な支援
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、行政等が一体となって「高齢者にやさしい、安心して暮らせるまちづくり」に努めている ・単身の高齢者や高齢者夫婦世帯が増加しており、孤立化が懸念される 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生きがいを持てるような機会や場所を提供すると共に、地域住民が安心安全に暮らせるような対策を推進していく。 ●ふれあいあいの場づくり、生きがいづくり ●見守り活動や一人暮らし世帯への弁当配付 ●地域健康診断の受診の呼びかけ ●ゴキブリ団子の配付 ●敬老会の開催 ●男の料理教室の開催
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や危険家屋、耕作放棄地の増加また私有地、田畑、山林等の手入れ不足など、地域を取り巻く環境は年々悪化の一途をたどっている ・有害鳥獣(いのしし等)の増加に伴う農作物への被害が甚大である ●地震や台風、線状降水帯や高潮等の自然災害の多発 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内一斉のクリーン作戦を継続的に実施すると共に、各地区における清掃活動を推進する事により、有害鳥獣の住処を作らせないようにする。 ●自主防災組織を強化すると共に「防災・避難訓練」や「消火訓練」等の実施を支援する ●非常持ち出し袋の配付及び補充点検の呼びかけ ●宮浜会による防火のための夜警の実施 ●「熊本県防災センター」や熊本地震「震災ミュージアムKIOKU」への視察研修。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会役員などの後継者が不足している ●ふるさと応援寄附金の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の見直しや部会の編成を行う。 ・振興会活動のPRを行い、参加しやすく、意見を出しあえる環境(会議)にする。 ●ふるさと応援寄附金による事業への有効活用。

赤崎地区振興計画 行動計画(案)

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 4年以上		
				R8	R9	R10	R11			
B	あかさき秋祭り	バザーやステージイベントを行って地区住民との交流を図る。	参加者250人以上	—————→					振興会	
B	鬼火焼き	子供会と実施地区が協力して、年末に鬼火焼きの準備を行い、1月7日に火を入れて鬼火焼きを実施する。	参加者20人以上	—————→					協働 (振興会+区)	
C	赤崎地区あじさいグラウンドゴルフ大会	6月上旬にグラウンドゴルフ大会を開催する。地区住民の交流を深める。	参加者約130人	—————→					振興会	
C	夜桜ライトアップ事業	3月末の1週間、旧赤崎小跡地の桜の木をライトアップし、地区内外の方に夜桜を楽しんでもらう。	花見客100人以上	—————→					振興会	
C	赤崎地区紅葉グラウンドゴルフ大会	11月下旬にグラウンドゴルフ大会を開催する。小学生から高齢者までが参加し、地区住民の交流を深める。	参加者約150人	—————→					振興会	
C	桜の木イルミネーション	12月上旬から1月まで、旧赤崎小跡地の桜の木にイルミネーションをする、地区内外の方に楽しんでもらう。	来場者100人	—————→					振興会	
D	子ども料理教室	12月に食改の協力・指導を得て、料理教室を行う	参加者15人以上	—————→					協働 (振興会+食改)	
D	夏休み体験事業	夏休み期間中に普段は経験できない様々な体験学習を企画。(4年生以上が対象)	参加者10人以上	—————→					振興会	
E	赤崎地区敬老会	振興会と婦人会の協力を得て、地区内在住の76歳以上の方を対象に敬老会を開催し、式典・演芸で楽しんでいただく。	年1回実施	—————→					協働 (振興会+婦人会)	
E	ゴキブリ団子配布	婦人会の協力を得て、ゴキブリ団子を作り全戸へ配布する。併せて、独居高齢者の見守りも行う。	年1回実施	—————→					協働 (振興会+婦人会)	
E	男の料理教室	男性を対象に食改の指導・協力を得て料理教室を年1回開催する。独りでも食事を作ることができるよう、メニューや調理法を身に着ける。	参加者10人以上	—————→					協働 (振興会+食改)	
F	自主防災活動	6月の第2日曜日に行われる有明地区の避難訓練に併せて、各区の自主防災組織でも訓練等を実施する。	参加者150人以上	—————→					協働 (振興会+区)	
F	愛花族運動	子ども育成部会を中心に除草作業を行う	参加者10人以上	—————→					振興会	
F	クリーン作戦	7月の第一日曜日に地区住民全員で市道・河川・溝等の除草・清掃活動を行う。	年1回実施	—————→					協働 (振興会+各区)	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

赤崎地区振興計画 行動計画(案)

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 5年以上			
				R8	R9	R10	R11				
B	赤崎地区の案内板の作成・設置	令和5年度に作成した赤崎地区「ガイドマップ」を基に「赤崎マップ」を2カ所(コミセン、赤崎グラウンド)に設置する	2カ所に設置	→						振興会	
B	赤崎地区の文化財の拓本の製作	地区内の記念碑や石碑などの多数の文化財や史跡が長年の風雨と共に風化や劣化が顕著であるため、長く後世に伝えるため「拓本」を制作する。		→	→					振興会	
F	視察研修「熊本県防災センター」及び熊本地震「震災ミュージアムKIOKU」	自然災害に対する「情報の収集」や「適切な状況の判断を行う事」を日常から認識し災害に対する「備え」をする必要がある事から、「熊本県防災センター」及び熊本地震「震災ミュージアムKIOKU」への視察研修を実施する事によって一人ひとりの心がけを「最大の防災」につなげる。	振興会役員の参加	→						振興会	
F	花づくり(花壇)について	子ども会の花壇にて「愛花族運動」を実施しているが、会員も減少し管理するのが難しくなっている。天草市の「天草花咲プロジェクト」による継続的な花いっぱい運動の展開を行い、今後は福祉環境部会と合同で花植えや除草等を年間通して実施する。美しい地域を作っていく事を目標として取り組む。	20人以上の参加。	→	→	→	→			振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)		11.4
人口(人)	総人口	751
	15歳未満	87
	15～64歳	346
	65歳以上	318
高齢化率(%)		42.3
就業人口(人)	第1次産業	64
	第2次産業	96
	第3次産業	224
世帯数(世帯)	総世帯数	284
	高齢単身者	51
行政区数(区)		5
学校	なし	
文化財・史跡	五輪の塔、キリシタン墓石、南蛮寺、老嶽神社、上津浦城跡、キリシタン上陸の地	
その他地域資源	老岳、四郎ヶ浜海水浴場、リップランド、ゴルフ場	
地域伝統芸能	上津浦地区諏訪神社太鼓踊り	
地域づくり団体	老人会・自主活動部会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
①人情味があり、温厚である。 ②キリシタン遺跡、四郎ヶ浜海水浴場等観光地が数多くある。 ③上津浦ダムで生活用水、農業用水が潤沢である。 ④名峰老岳からの展望が絶景である。 ⑤河川に鯉やメダカが多く泳いでいる。 ⑥田園地帯が広がっている。 ⑦上津浦独自の自主活動部会があり、地域の環境整備や食育や伝統芸能の継承などが行われている。		
地区が抱える課題・困っていること		
●農業従事者の高齢化(後継者不足) ●地域連帯の希薄化 ●少子高齢化 ●若者の流出		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	「できる人が、できる時に、できる事から」
考え方	地区民が主役となったまちづくりを実現していくために「自分たちの地区は、自分たちでつくる」という気運を高め地域の活動を支援しながら、自立した自治組織の構築に努め、事業実施にあたっては、「できる人が、できる時に、できる事から」という考え方で無理をせず持続性のある取り組みを行っていきます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次産業の低迷や公共事業の減少による地域力の低下。 ・第一次産業後継者の不足。 ・耕作放棄地が年々多くなりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地区の資源を活用したまちづくり ・各種イベント時のバザーにより産業の活性化を図りたい。 ・上津浦地区地産地消をめざす。(イベント出品等)
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・キリシタン遺跡、四郎ヶ浜海水浴場、上津浦城跡、名峰老岳等の観光資源を有している。 ・青年団による太鼓踊りの継承。 ・地元に残る若者の減少。 ・観光資源の一つ、名峰老岳へのアクセスの整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町のイベントに併せて宣伝 ・町のイベントとタイアップした観光資源の周知を図り、第三次産業の活性化につなげたい。 ・郷土芸能の保存として上津浦太鼓踊りの継承。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者による自主教室などの生涯学習活動が盛んである。 ・地区のミニバレー大会を今年度から、グラウンドゴルフ大会に切り替えて、休日開催で老若男女問わず、世代間の交流を目指している。 ・春祭りの開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グラウンドゴルフ大会の実施(年1回) ○春祭り(よかつ祭)の開催 ・高齢者による健康づくりのためのグラウンドゴルフを大会とし、世代間の交流を主な目的に、老若男女問わず参加者を募り、近年特に希薄になってきている地区内の交流を目的にしている。 ・春祭りにより、希薄になりつつある地域の交流を応援する活動につなげる。 ・移住者、Uターン者等の地域交流の場を目指す。
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進行により、子育ての拠点である学校が減少し、少子化がさらに進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○鬼火焼き、十五夜の実施 ・各種活動を通じて、地域と子供たちの繋がりを保つ。 ・区長、班長の鬼火焼きの準備の協力。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進行し、高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○敬老会の開催 ○一人暮らし世帯へのお弁当配布事業 ○地域福祉ネットワーク事業の推進 ・敬老会の開催や地域福祉ネットワーク事業の推進により地域全体で、常時互いに見守り活動を実施できるような地域をつくりたい。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地として、美しい町の景観が保たれている。 ・上津浦グラウンド整備活動。 ・高齢化が進む中で、災害に強い地域をつくる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クリーン作戦、河川清掃活動の実施 ○公共花壇の管理活動、祇園様の桜、上津浦ダム付近の整備活動への支援 ○避難訓練の実施 ○避難所運営事業の受託 ・国、県の補助事業を活用し、地域全体で農地の保全に取り組む。 ・クリーン作戦や河川清掃活動、公共花壇の花植え活動や祇園様の桜の整備、上津浦ダム付近の桜や彼岸花の整備を継続して推進する。 ・年に1回、市の避難訓練に併せて、自主防災活動の実施。
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会部会員の減少。 ・グラウンド、グラウンド周辺の除草。 ・振興会だよりの発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会にて、若手の減少が著しい地区などは、地区で話し合い協力し合いあう。 ・区長、班長による各行事への協力。

上津浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	上津浦春祭り/よかつ祭	各種イベントやバザー出店	来場者300人以上						振興会	
C	各種スポーツ大会	9月 グラウンドゴルフ大会 3月 ソフトボール大会	合計2回実施						振興会	
D	鬼火焼き	3地区に分かれて実施	年1回						子供会+区	
D	十五夜	中秋の時期に十五夜行事を実施	年1回						子供会+振興会	
E	敬老会	敬老会への参加	敬老会の50%の参加						振興会	
E	一人暮らし高齢者等弁当配布事業	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などに弁当をつくり配布する事業	年間1回以上活動実施						振興会	
F	クリーン作戦 河川清掃活動	河川、道路、海岸等の清掃活動	年間2回以上活動実施						振興会	
F	自主防災活動	避難訓練の実施 避難所運営委託業務の受託 防災講習の実施	年間1回以上活動実施						振興会	
F	グラウンド除草作業	上津浦グラウンドをみんなの広場と位置付け、地区民の憩いの場として、除草作業を実施	年間2回以上						振興会	
H	振興会だよりの発行	振興会の活動、自主部会の活動などの報告や地域活動を知ってもらうため発行	月に1回						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(k㎡)	8.55	
人口(人)	総人口	351
	15歳未満	25
	15～64歳	134
	65歳以上	192
高齢化率(%)	54.7	
就業人口(人)	第1次産業	51
	第2次産業	27
	第3次産業	95
世帯数(世帯)	総世帯数	147
	高齢単身者	29
行政区数(区)	3区	
下津浦ひな祭りのようす		
学校	なし	
文化財・史跡	<p>【文化財】 諏訪宮・十五社宮・清正公様・稲荷社・祇園社・庵寺跡 など</p> <p>【史跡】 権六古墳</p>	
その他地域資源	<p>平成18年に県営のほ場整備により約22ha整備された良好な水田地帯がある。果樹(柑橘類)の栽培が中心である。</p> <p>また、秋には地域内を横断する下津浦川河川堤防沿いに彼岸花が咲き誇り、彼岸花ロードがある。</p>	
地域伝統芸能	<p>下津浦諏訪宮秋季例大祭神幸行列並びに太鼓踊り</p> <p>※昭和53年 全国青年祭において優秀賞を受賞。</p>	
地域づくり団体	<p>老人会・営農組合・グラウンドゴルフ愛好会・下津浦太鼓踊り保存会</p>	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>【住 民】素朴で人柄が良く、人情味に厚い</p> <p>【地域連携】定期的な地区常会により意見交換も良く行われ、連絡の周知徹底も図られていることから地域のまとまりも良い</p> <p>【伝統芸能】地域内にある諏訪宮の秋季例大祭時に奉納される太鼓踊りが、伝統的に継承されている</p> <p>【産 業】稲作・デコポン栽培が中心である</p> <p>【環境活動】自主的に資源物の回収作業を行い、ゴミ減量・リサイクル促進に努めている</p> <p>【収益活動】各種イベントでバザー等を行い、自主財源を生み出している</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>下津浦地区では、若者の地域外流失により過疎化が進行し、少子化はもちろん高齢化率も54%を超えている。その結果、地域内の主産業である農業における後継者不足が深刻である。</p> <p>今後は高齢者をはじめとする地域住民が豊かで快適な生活をおくり、未来を担う子どもたちに誇れる地域をつくるために、いかに地域内に活力を生み出すかが課題である。</p>		

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	住み続けたいまちをつくり生き抜こう 少子高齢化時代 ～笑顔あふれる彼岸花の里～
考え方	今や避けられない事実となった少子高齢化の地域にあって、今後はコミュニティや生活環境の健全化を図ることで住みやすいまちづくりを目指す。


◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	地域内の主産業である第一次産業の振興と地域の活性化を図るため、特産品開発などに取り組む。	・関係機関、団体との連携、協力
【B】 観光 ・ 文化	伝統文化を継承し、郷土愛をもった子どもたちの育成を図る。	・伝統文化の継承
【C】 地域 振興	少子高齢化が進むなか、地域の諸課題を認識し、高齢者ならではの経験豊富な知識と発想を活かした地域づくりに努める。	・各イベントを通じて地域内外の交流を促進する。その手段としてUdeスポーツ活用して各種団体と連携を図る ・広報紙やホームページを活用し、地域内外に情報を発信する
【D】 教育	少子高齢化が進むなか、地域の宝である子どもたちに、地域のよさを知ってもらい、各種体験を通じて思い出づくりと健全で豊かな心、郷土愛をはぐくむことを目的とする。	・各種団体との連携を図る
【E】 保健・医療 ・福祉	超高齢社会の中で、高齢者が生きがいを持ち、自ら生き抜く為の福祉・ボランティア活動を積極的に行うための仕組みづくりを推進し、明るく元気な長寿のまちづくりに努める。	・健康増進と交流の場づくり ・見守りネットワークの強化
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	後継者不足による田畑の荒廃、水質・土壌等の汚染・汚濁など自然環境の荒廃が進んでいる。地域内の生活環境の整備及び環境づくりに努め、快適で住み良いまちづくりを目指す。	・花の名所づくり運動による環境美化 ・防災訓練による危機意識の醸成
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

下津浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	地域景観整備事業	関係機団体と協力し、景観整備を行う。	彼岸花の推進 (球根、肥料の購入)	→				振興会		
B	伝統文化継承	少子化による、伝統芸能・太鼓踊りの存続の危機を回避するため、ふるさと応援寄付金を財源とした支援を行う。	5年以上継続	→				協働(振興会+太鼓踊り保存会等)		
C	ひな祭り	地域住民から寄付いただいた、ひな人形を展示。数年1回バザーやステージイベントなどのひな祭り会を実施する。	来場者200名以上	→				振興会		
C	広報紙の発行	地域内の全世帯に広報誌を発行する。	年6回の発行	→				振興会		
C	ホームページの運営	地域内の情報をホームページ上で随時発信していく。	毎月4回の更新	→				振興会		
C	秋祭り(彼岸花フェスタ)	地域内の祭りに併せて、バザーや抽選会、もち投げを行う。	来場者200名以上	→				振興会		
C	下津浦ふるさと応援団	下津浦出身者に、地区振興会広報誌を送り下津浦の応援団になってもらい、交流人口の増加に繋げる。	年間120通(20名×6回/年)	→				振興会		
C	憩いの場づくり	コミセンの一部屋を開放し、住民の集いの場を提供する。	年間を通じて実施(平日の9~17時)	→				振興会		
C	コミセン講座	コミセンの利用者増加と住民の生きがいを目的とした、講座を開催する。	年1回開催	→				振興会		
C	地域資源活用事業	雛人形展に併せて、フォトコンテスト、文化展の実施。 Udeスポーツ体験の実施。	年1回開催	→				振興会		
D	自然観察会(フットパス)	地元の方を講師に、地域内の植物や野鳥の観察会を行う。	年1回開催	→				振興会		
D	夏休み寺子屋	他地区振興会と合同で民泊事業、または日帰り体験事業を実施する。	年1回開催	→				振興会		
D	鬼火焼き	旧有明西中プール跡で実施されている鬼火焼きを地区振興会で継承する。	年1回開催	→				協働(振興会+各団体)		

地区の概要(H27国勢調査参考)		 <p style="text-align: center;">島原湾から見た島子の風景</p>	
面積(km ²)	11.21		
人口(人)	総人口		1468
	15歳未満		138
	15～64歳		637
	65歳以上		693
高齢化率(%)	47.2		
就業人口(人)	第1次産業		99
	第2次産業		92
	第3次産業		404
世帯数(世帯)	総世帯数		520
	高齢者のみ	191	
行政区数(区)	11区		
学校	なし		
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> ・対岳楼跡あこう樹(天然記念物)・唐津武士の墓(天草の乱で討死) ・諏訪神社・津波供養碑・天草古地図・小島子城跡・大島子城跡、天草の乱古戦場(初戦の地)、対岳楼跡 		
その他地域資源	動鳴山 島子諏訪神社、八幡宮、十五社宮の桜		
地域伝統芸能	島子諏訪神社秋季例大祭神幸行列並びに太鼓踊り		
地域づくり団体	島子地域づくり推進協議会・婦人会・長寿会・子供会・島子太鼓踊り保存会		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・雲仙を望める有明海の海岸線や蛭が見られる河川など美しい自然環境に恵まれている。 ・近所付き合いがよく、常に隣り同士の会話が行われている。 ・地域の目標ができると、まとまり実行体制ができる。 ・地区の球技大会も48回を超え、歴史あるイベントになっている。以前はミニバレーとグラウンドゴルフ大会だったが、現在は名称を「スポーツ大会」と変更し、モルックとグラウンドゴルフを実施。 ・島子地区には、先人たちが残した過去を知る跡や、その時代の状況を物語る場所が多数あります。(『ふるさと島子探訪』H9冊子を各戸配付。発行:島子地域づくり推進協議会) 			
地区が抱える課題・困っていること			
<ul style="list-style-type: none"> ・有明町内で最後の単独校として存続していた島子小学校も平成30年に閉校し、有明小学校として統合した。子ども達やその保護者の減少により地域の活力が低下している。 ・地域の高齢化に向け、高齢者から子どもまで一体となり、地域資源を活用した地域づくりの推進が必要である。 ・かつて主要な産業であった農業、漁業等一次産業の後継者不足により、地域産業が低迷してきており、農地、果樹園の荒廃による跡地利用が問題となっている。 ・人口が減るにつれ、空き家も増えてきている。管理をきちんとしていないところも多く、近隣住民に迷惑がかかっている。 			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

<p>テーマ</p>	<p>生き残る島子を創ろう！！</p>
<p>考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが住みたくなる島子づくり。若年層の定住を促進し、子ども達の笑顔あふれる島子をつくりましょう！ ・高齢者が元気な島子づくり。高齢者の生きがいと雇用の場がある島子をつくりましょう！ ・自然と環境にやさしい島子づくり。山・川・海を守り、自然の生き物が住める島子をつくりましょう！

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の収入確保をとなるように加工品の販売（イチゴ大福）など以前実施したが、後継者不足で継続するのが困難になった。当面はバザーで農産物の販売を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農産物など各種イベント等で募集及び販売（しまごお祭り出店、しまご春まつり等）
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・島子地区には、先人たちが残した過去を知る跡や、その時代の状況を物語る場所が多数ある。 ・H23に地域に多数ある名所・旧所等のマップを作成し、各名所に標柱を設置済み。今後は有明フットパス等もあるため、ボランティアガイドの養成に力を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の名所及び旧跡等のボランティアガイド養成講座（研修） ・小・中・高校生を対象とした、太鼓踊り体験会を実施
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の閉校により、世代交流が難しくなっている。 ・地区コミュニティセンターで実施している自主講座の推進と学習発表会の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区スポーツ大会の実施 ・世代交流のためのラジオ体操実施 ・自主学級教室の推進及び発表会の開催（敬老会、しまご春まつり） ・広報誌発行やホームページを活用し情報の発信
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・普段できない様々な体験や交流を通して、天草の郷土愛を醸成を目的として、各地で体験学習を行う。 ・小学校での部活がなくなり、社会体育となった。島子ではサッカーやソフトボールの社会体育団体があり、受け皿となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供体験事業として天草各地での体験学習 ・社会体育団体が活動しやすいようにバックアップしていく
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が顕著なことから、子供と高齢者を対象としたふれあいづくりの場を提供する。 ・長寿会や小学校との連携を図り地区住民が安心して生活できる環境づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークによる高齢者や子ども達の見守り及び健全育成 ・地域をあげての敬老会の開催
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全、河川の浄化及び海岸の清掃活動を行い、山・川・海の自然の生き物が生育できる環境づくりを行う。また、住民が和むような地区内の景観向上を目指す。 ・いつ何時起こるか分からない自然災害へ対応するため、地区住民に防火・避難訓練等を実施する。また、災害弱者の逃げ遅れ等を防ぐため地域ぐるみの救助対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の植樹による地域景観の充実 ・クリーン作戦の実施による地域内の美化清掃 ・各行政区主催による防火訓練やAED講習・防災に関するイベントの実施 ・災害時における地域内の救助役割の確認訓練
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

島子地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
E	見守りネットワーク	・毎週月曜日の朝、通学時にあいさつ運動。スクールバスの見守りを実施。	あいさつ運動は10名以上の方々で実施	→					振興会	
C	生涯学習活動支援	・1つの自主講座で5人以上であれば、消耗品購入の支援を行う。	11団体が活動している。	→					振興会	
A	各種イベントへの出店	・秋の例大祭のお祭りバザー、春まつりに出店。	地域である各種イベントで出店	→					振興会	
F	クリーン作戦	・年2回、除草作業やごみ拾い、海岸漂着物の除去などをおこなっている。	400名前後の参加、年2回	→					振興会	
D	子ども体験事業	・夏休みを利用して、天草各地で体験学習を開催している。4～6年の小学生を対象に実施。	20名前後で、年1回実施	→					振興会	
C	スポーツ大会	・モルックは令和7年度から実施。グラウンドゴルフは個人戦で25名ほど参加。	年1回実施	→					振興会	
E	敬老会	・敬老対象者は300名以上で、お弁当の配布や保育園、自主講座のステージ発表をおこなっている。	出席者は100名程度	→					振興会	
F	避難訓練	・有明町内一斉訓練に合わせて、津波避難訓練を実施。また、防災にちなんだイベント・講座を開催。	全地区参加で100名程度	→					振興会	
A	しまご春まつり	・H21年度に桜まつりとしてスタート。H23年度から春まつりとして実施。 ・ステージイベント、もち投げ、大抽選会、など	参加者400名程度	→					振興会	
C	世代交流 ラジオ体操の日	健康・体力づくりを目的としたラジオ体操。運動後は世代交流を目的とした朝食会。	年1回実施	→					振興会	
B	太鼓踊り体験会	島子地区に住んでいる小・中・高校生に、地元への誇りと愛着をもってもらうことを目的として、郷土芸能である【島子太鼓踊り】の紹介を行う。	年1回実施	→					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

